

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	やすたけ けんいちろう 安武 健一郎	所属・職名	健康福祉学部 健康栄養学科 准教授
専門領域	臨床栄養学	学位称号	博士(薬学) .2010 (平成 22)
最終学歴	1998 (平成 10) 中村学園大学 家政学部食物栄養学科 管理栄養士専攻 卒業		
資格・免許等	管理栄養士免許、栄養士免許、食品衛生監視員資格、食品衛生管理者資格、 日本静脈経腸栄養学会認定 NST 専門療法士、日本病態栄養学会認定 病態栄養専門師		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	食事療法論、食事療法論実習、食事設計実習、総合演習 I、臨地実習 II, IV		
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>● 病態に応じた献立力向上を主眼とした課題・レポートの提出 平成 21 年 4 月～現在 レポートを活用した病態別献立作成力および展開力の向上 (平成 21 年度～現在) 「食事療法論実習」(専門科目、3 年次配当、半期、必修 1 単位)において、病態別献立 作成能力および病態別献立への展開能力の向上を主眼としたレポート提出を求めた。</p> <p>① 病態別に指示した栄養素量の献立作成 ② 一般食の献立を指示した病態別献立への展開 ③ レポートの添削とワンポイントアドバイスの記述 ④ レポート返却時における全体解説</p> <p>この工夫により、現代学生の大きな弱点である献立能力の改善の一助になり、臨地実習で 課される課題などにも役にたっていると思われる。また、授業評価アンケートの自由記述 においても、「大変だったが力がついた」、「個別に添削とアドバイスがもらえて参考にな った」など好意的な意見が多数であった。</p> <p>● 復習の動機づけの工夫について；ミニテストの活用 平成 21 年 4 月～現在 「食事療法論」(専門科目、3 年次配当、半期、必修 2 単位)、「食事療法論実習」(専 門科目、3 年次配当、半期、必修 1 単位)において、講義内容の理解を深めるための復習 を習慣づけるための工夫を行った。すなわち、毎回の講義(実習では、実習前に短時間の 講義を実施している)で学習した内容を 10 問程度のミニテストにまとめ、最終成績に反 映させることを周知することで、強制力をつけた。これにより、多くの学生が復習をする 習慣がついたと思われる。実際にミニテストの全体平均点は高く、多くの学生が復習を行 ったことが示唆される。この工夫は、学生の学習意欲を惹き起させる一助になるとわれ、 さらに効果的に実施できるよう、今後も改善を加える予定である。授業評価アンケートの 自由記述においては、「復習の習慣がついた」、「毎回の実習の理解が深まった」など好 意的な意見が多数であった。</p>		
職務上の実績に関する事項			
<p>● 各大学から受け入れた臨地・校外実習生に対する指導歴(管理栄養士) 平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月 独) 国立病院機構の厚生労働技官(管理栄養士)として、各地域の大学生の臨床栄養管理実習、短期大 学生・専門学校生の給食経営管理実習について、臨地・校外実習の受け入れを行い臨床現場にお ける学生の指導・教育を行った。具体的な指導・教育内容は、管理栄養士業務全般であり多岐 にわたるが、栄養サポートチーム(NST)や、臨床研究実施など、今後、管理栄養士がさら に力を入れていくべき先端内容についても指導・教育を行った。</p> <p>● 国立病院機構九州医療センターの ①公開講座、②高血圧教室、③肝臓病教室における講演 平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月まで 国立病院機構九州医療センターは、1 回/月で上の①②を実施、1 回/2 ヶ月で③の実 施など、多数の公開講座を実施している。これに伴い、一般市民および患者を対象に、 管理栄養士の立場から各病態の栄養管理について種々の講演を行った(内容は多数、 多岐に及ぶため省略)</p>			

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
【著書】			
1. 酸化ストレスと肝疾患第4巻	共著	メディカルジャーナル社	H20.8
2. 酸化ストレスと肝疾患第4巻	共著	メディカルジャーナル社	H21.8
3. 臨床栄養学実習	共著	同文書院	H23.3
【学術論文】			
1. SGAは院内のどの職種が担当すべきか（総説）	共著	臨床栄養	H19.5
2. 入院時栄養スクリーニングにおける総リンパ球数 と他の栄養指標との関係に関する検討（原著）	共著	栄養—評価と治療	H19.12
3. 非アルコール性脂肪肝(NAFLD)における栄養素摂取 量の実態—性差による比較—（報告書）	共著	政策医療振興財団月刊 誌、医療の広場	H20.6
4. 非アルコール性脂肪肝(NAFLD)における栄養素摂取 量と病態—性差および肥満の有無による比較 （原著）	共著	日本病態栄養学会誌	H20.12
5. Nutritional investigation of non-obese patients with non- alcoholic fatty liver disease: the significance of dietary cholesterol （原著）	共著	Scand J Gastroenterol	H21.5
6. Validity of FibroScan values for prediction of hepatic fibrosis stages in patients with chronic HCV infection（原著）	共著	J Dig Dis	H21.5
7. Impact of cholesterol metabolism and the LXRA-SREBP-1c pathway on nonalcoholic fatty liver disease（原著）	共著	Int J Mol Med	H21.5
8. 入院時栄養スクリーニングにより抽出された肥満 患者の現状と問題点（原著）	共著	日本病態栄養学会誌	H21.3
9. 肥満の有無による非アルコール性脂肪肝の病態と 栄養素摂取量の解析—特に食事性コレステロール 摂取量の重要性について—（原著）	共著	日本病態栄養学会誌	H21.9
10. 非アルコール性脂肪性肝疾患に対する外来栄養食 事指導の効果（原著）	共著	日本栄養士会雑誌	H21.11
11. Therapeutic effect of bezafibrate against biliary damage: a study of phospholipid secretion via the PPARα-MDR3 pathway（原 著）	共著	Int J Clin Pharmacol Therapeut	H22.1
12. Expression profile of lipid metabolism-associated genes in HCV-infected human liver（原著）	共著	Hepatology Research	H22.9
13. 非肥満非アルコール性脂肪性肝疾患患者の栄養学 的研究—食事性コレステロールの重要性と薬物療 法への展開（原著）	単著	福岡大学薬学集報	H23.3
14. Expression profiles of genes associated with viral entry in HCV- infected human liver.	共著	J Med Virol	H23.3
15. Self-monitoring urinary salt excretion in adults: A novel education program for restring dietary salt intake	共著	Exp Ther Med	H23.5
16. 尿中食塩排泄量セルフモニタリングを取り入れた 地域における減塩教育の有用性	共著	保健医療科学	H23.8
17. 尿中食塩排泄量のセルフモニタリングと減塩教室 を組み合わせた新しい減塩教育法の効果：健常者 における高血圧症予防への取り組み	共著	日本栄養士会雑誌	H23.10
18. 慢性腎臓病の食事療法基準からみた維持血液透析 患者の栄養素摂取量の実態：たんぱく質・エネル ギー栄養消費状態（PEW）の視点から	共著	日本透析医学会誌	H23.11
19. C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン+リ バビリン併用療法における食事摂取の意義—多価不 飽和脂肪酸と Early virologic response との関連性—	共著	日本栄養士会雑誌	H24.1

【学会発表】			
1. 非アルコール性脂肪肝 (NAFLD) の栄養・食事摂取量について	共著	第 30 回栄養アセスメント研究会 (横須賀)	H19.5
2. NAFLD の栄養・食事摂取量について; 特に男女間, 肥満の有無の観点から	共著	第 89 回日本消化器病学会九州支部例会 (福岡)	H19.6
3. 総リンパ球数と他の栄養指標との関係—入院時栄養スクリーニングで抽出された 1881 例における検討—	共著	第 31 回ウイルス肝炎・肝疾患治療研究会 (福岡)	H19.6
4.		第 44 回日本外科代謝栄養学会 (東京)	
5. NAFLD における栄養・食事摂取量の実態について; 特に男女間, 肥満の有無の観点から	共著	第 15 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2007) (神戸)	H19.9
6. NAFLD の栄養・食事摂取量について; 特に男女間, 肥満の有無の観点から	共著	第 61 回国立病院総合医学会 (名古屋)	H19.10
7. 非肥満 NAFLD の病態 (1) —栄養摂取量の解析, 特に食事性コレステロール摂取量の重要性について—	共著	第 4 回酸化ストレスと肝研究会 (福岡)	H19.11
8. 非肥満 NAFLD の病態 (2) —脂肪酸代謝関連遺伝子, 特に酸化ストレス関連遺伝子と LXR α の発現について—	共著	第 4 回酸化ストレスと肝研究会 (福岡)	H19.11
9. 入院時栄養スクリーニングにより抽出した過栄養患者の現状と対策	共著	日本医療マネジメント学会 第 6 回九州・山口連合大会 (鹿児島)	H19.11
10. 栄養スクリーニングにより抽出した過栄養患者に対する栄養学的介入促進の取り組み	共著	日本医療マネジメント学会 第 6 回九州・山口連合大会 (鹿児島)	H19.11
11. 外来高血圧患者における減塩指導の問題点: 減塩食レシピを中心として	共著	第 11 回日本病態栄養学会 (京都)	H19.11
12. 非肥満 NAFLD における栄養摂取量の解析と病態—特に食事性コレステロール摂取量の重要性について—	共著	第 11 回日本病態栄養学会 (京都)	H20.1
13. NAFLD の栄養摂取量とアディポカインの解析	共著	第 4 回国立病院栄養研究会 (岡山)	H20.1
14. 総リンパ球数と他の栄養指標との関係—入院時栄養スクリーニングで抽出された 1881 例における検討—	共著	第 4 回国立病院栄養研究会 (岡山)	H20.1
15. 整形外科の腰椎関連術後症例における食事摂取支援の検討	共著	第 4 回国立病院栄養研究会 (岡山)	H20.1
16. 腰椎関連術後症例に対するフォーク食の有用性に関する検討	共著	第 4 回国立病院栄養研究会 (岡山)	H20.1
17. 非肥満症例を通しての NAFLD の病態解明: 非肥満 NAFLD におけるコレステロール代謝の重要性	共著	第 6 回国立病院医療技術学会 (福岡)	H20.1
18. 入院時栄養スクリーニングにおける総リンパ球数と他の栄養指標との関係に関する検討	共著	第 23 回日本静脈経腸栄養学会 (京都)	H20.2
19. 当院における入院時栄養スクリーニングの変遷とその効果	共著	第 23 回日本静脈経腸栄養学会 (京都)	H20.2
20. 当院における NST 病棟看護師リンクスタッフに対する教育方法の変遷とその効果	共著	第 23 回日本静脈経腸栄養学会 (京都)	H20.2
21. 当院 NST 介入患者における経口摂取への取り組み	共著	第 23 回日本静脈経腸栄養学会 (京都)	H20.2
22. 当院における入院時栄養スクリーニングにより抽出した過栄養患者の現状と対策	共著	第 23 回日本静脈経腸栄養学会 (京都)	H20.2
23. 長期入院患者に対する再栄養スクリーニングの必要性	共著	第 33 回九州栄養・代謝研究会 (熊本)	H20.3
24. 非肥満症例を通しての NAFLD の病態解明—コレス	共著	第 94 回日本消化器学会総	H20.6

テロール代謝の重要性—			会 (福岡)	
25. NAFLD に対する栄養指導の効果—過栄養症例の栄養管理方法の検討—	共著		第 94 回日本消化器学会総会 (福岡)	H20.6
26. NAFLD における栄養素摂取量の解析—肥満の有無による比較—	共著		第 12 回肝と栄養の会 (東京)	H20.9
27. 内臓脂肪面積からみた NAFLD の病態—特に栄養素摂取量とコレステロール代謝・インスリン抵抗性の関係について—	共著		第 16 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2008) (東京)	H20.10
28. NAFLD における性差：臨床背景と栄養素摂取量の比較検討	共著		第 16 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2008) (東京)	H20.10
29. 野菜による抗酸化物質の摂取量からみた NAFLD の病態	共著		第 5 回酸化ストレスと肝研究会 (福岡)	H20.11
30. NAFLD に対する外来栄養食事指導の効果	共著		第 12 回日本病態栄養学会 (京都)	H21.1
31. 野菜による抗酸化物質の摂取量からみた非アルコール性脂肪肝の病態	共著		第 12 回日本病態栄養学会 (京都)	H21.1
32. 非アルコール性脂肪肝における菓子類摂取頻度による栄養素摂取量の検討	共著		第 12 回日本病態栄養学会 (京都)	H21.1
33. 減塩モニタを用いた食塩排泄量自己測定の有用性：夫婦を用いた検討	共著		第 12 回日本病態栄養学会 (京都)	H21.1
34. 食品由来の抗酸化物質摂取量からみた NAFLD の病態	共著		第 13 回肝と栄養の会 (東京)	H21.9
35. 地域健常者に対する尿中食塩排泄量自己測定の有用性—新しい減塩教育方法の検討—	共著		第 13 回日本病態栄養学会 (京都)	H22.1
36. 急性期病院における全科型 NST の介入効果	共著		第 13 回日本病態栄養学会 (京都)	H22.1
37. PEG-IFN・RBV 併用療法導入 C 型慢性肝炎患者の栄養素摂取量の推移	共著		第 13 回日本病態栄養学会 (京都)	H22.1
38. 入院時栄養スクリーニングにおける総リンパ球数と栄養状態の関係—第二報—2010	共著		第 25 回日本静脈経腸栄養学会 (千葉)	H22.2
39. 佐賀県および兵庫県における維持血液透析患者の食事調査結果が示唆する栄養素不足の可能性	共著		第 68 回佐賀県人工透析懇話会	H23.3
40. リン摂取量を高頻度に反復継続評価できる新しい方法「リンビンゴ」	共著		第 21 回日本腎性骨症研究会	H22.2
41. 急性期病院における全科型 NST の介入効果—111 例の検討—	共著		第 35 回九州代謝・栄養研究会	H22.3
42. リン摂取量管理の新しい診療ツール「リンビンゴ」の開発	共著		腎臓病と栄養・代謝・食事フォーラム 2010	H22.3
43. 新規開発したビンゴカード型簡易リン摂取量調査ツール	共著		第 10 回日本抗加齢医学会総会	H22.3
44. 外来診察への日常応用を目指した簡易リン摂取量調査法の開発	共著		第 53 回日本腎臓学会学術総会	H22.6
45. 維持血液透析患者の栄養素摂取量の現状と問題点	共著		第 55 回日本透析医学会総会	H22.6
46. 肝癌合併肝硬変患者の栄養素摂取量の現状と問題点	共著		第 14 回肝と栄養の会 (東京)	H22.9
47. 急性期総合病院における全科型 NST 活動のアウトカム評価	共著		第 12 回日本医療マネジメント学会学術総会	H22.6
48. 尿中食塩排泄量自己測定と減塩教室を組み合わせた新しい減塩教育方法の検討	共著		第 33 回日本高血圧学会総会	H22.10
49. 新規開発したビンゴカード型簡易リン摂取量調査ツール	共著		第 1 回腎不全研究会 (東京)	H22.12
50. ペグインターフェロン・リバビリン併用療法導入 C 型慢性肝炎患者の栄養素摂取量の推移 (第 2	共著		第 14 回日本病態栄養学会 (横浜)	H23.1

<p>報) 肝癌合併 C 型肝硬変患者の栄養素摂取量の現状と問題点 51. C 型肝硬変患者における栄養状態の評価 52. C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN/RVB 併用療法時の栄養素摂取量の推移：特に鉄摂取量の観点から 53. リンビンゴ:ビンゴカード型リン摂取量調査ツールの開発 54. 夜間尿による食塩排泄量自己測定の妥当性の検証 減塩教育への応用を目指した pilot study 55. 夜間尿による食塩排泄量自己測定の妥当性 56. C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN/RVB 併用療法における組成・栄養素摂取量の推移：ジェノタイプ別比較 57. 肝硬変患者における腹部脂肪面積の解析</p>	<p>共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著</p>	<p>第 14 回日本病態栄養学会 (横浜) 第 15 回日本肝臓学会 (東京) 第 15 回肝と栄養の会 (東京) 第 77 回大阪透析研究会 (大阪) 第 33 回日本高血圧学会総会 (栃木) 第 8 回国立病院栄養研究学会 (福岡) 第 15 回日本病態栄養学会 (京都) 第 15 回日本病態栄養学会 (京都)</p>	<p>H23.1 H23.6 H23.9 H23.9 H23.10 H23.12 H24.1 H24.1</p>
<p>研究助成等</p>	<p>【永原学園特色ある研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中高年者に対する食塩排泄量自己測定による減塩効果の検討(平成 21 年度) ● 透析患者のための簡単で治療に有効な食事評価&栄養指導ツールの作成(平成 21 年度) <p>【西九州大学健康福祉教育研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 減塩食器と尿中食塩排泄量自己測定機器を用いた高血圧予防プログラムの効果(平成 21-22 年度) <p>【文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 早期 CKD 患者の実践的リン摂取量管理法がカルシウム・リン代謝に与える影響(平成 22-24 年度) <p>【西九州大学健康福祉教育研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 母子間における食塩摂取状況の関連と栄養教育の効果 (平成 23-25 年度) ● 規格外野菜等の有効利用による新規機能性食品の開発と有用性の検討 (平成 23-24 年度) <p>【平成 23 年度第 2 回「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)探索タイプ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高オレイン酸含有大豆を原料とした機能性食品の開発と有用性の検討(平成 23-24 年度) 		
<p>学会及び社会における活動等</p>			
<p>日本栄養士会、日本静脈経腸栄養学会、日本栄養アセスメント研究会、日本消化器病学会、日本病態栄養学会、日本栄養改善学会、日本透析医学会、日本肝臓学会</p>			